

2010年8月6日

「新・温度対応」スタッドレスタイヤ

ランフラット・スタッドレスタイヤ「アイスガードトリプルZ・P・S」発売

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、独自に開発したサイド補強型ランフラットタイヤ※1「Z・P・S (Zero Pressure System)」シリーズの新商品として、「アイスガードトリプルZ・P・S (ゼット・ピー・エス) ※2」を発売する。同商品は、ヨコハマ・スタッドレスタイヤ史上最高の氷上性能を保有している乗用車用スタッドレスタイヤ「アイスガードトリプル」をベースに開発したランフラット・スタッドレスタイヤで、2010年9月から順次発売する。発売サイズは195/55RF16 87Q～245/40RF18 93Qの6サイズ、価格はオープンプライス。

※1 ランフラットタイヤはパンクなどで空気が抜けた状態（ゼロプレッシャー）でも所定の速度で所定の距離を走れるタイヤ。

「アイスガードトリプルZ・P・S (ゼット・ピー・エス)」は最大80km/hの速度で最大80kmの距離。

※2 製品名：「アイスガードiG30 Z・P・S」 愛称：「アイスガードトリプルZ・P・S」

「アイスガードトリプルZ・P・S」は「アイスガードトリプル」の「新・温度対応」コンセプトを受け継ぎ、冬季走行で最も求められる氷上性能をはじめ、スノー&シャーベット、ドライ、ウェットなど温度でさまざまに変化する冬路面に応じて優れた走行性能を発揮する。スタッドレスタイヤとしての基本性能に加え、空気が抜けた状態（ゼロプレッシャー）でもタイヤが車両を支えられるように、タイヤのサイドウォール（側面）を補強する「パワーアーチ」、ゼロプレッシャー時のタイヤ変形に対応する「Z・P・Sビードフィラー」、リムからのタイヤはずれを防止する「Z・P・S高剛性ビードワイヤー」など横浜ゴム独自のランフラット・テクノロジーを搭載。これによりスタッドレスタイヤに求められる性能とパンク時のリスク回避を両立している。

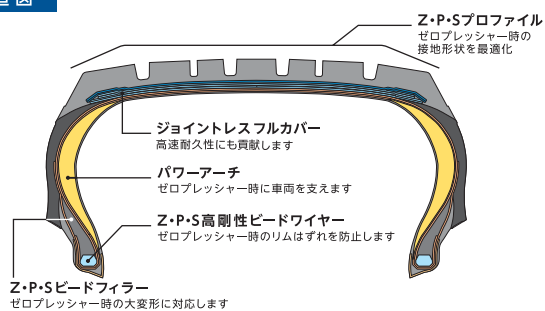


横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

ヨコハマ・ランフラットテクノロジーを採用

サイド補強型ランフラットタイヤの補強材として「パワーアーチ」を採用。数々のシミュレーションや走行試験にて、ゼロプレッシャー時でも最適な形状を確保する専用プロファイルと構造、ゼロプレッシャー時にリムからのタイヤはずれを防ぐ「Z・P・S高剛性ビードワイヤー」を採用している。

構造図



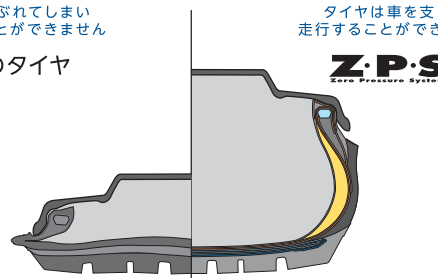
<イメージ図>

ゼロプレッシャー時のタイヤ形状

タイヤはつぶれてしまい
走行することができません

通常のタイヤ

タイヤは車を支え
走行することができます



<イメージ図>

Z・P・S
Zero Pressure System

ヨコハマが独自に開発を行っている
「サイド補強型ランフラット機能」を備えたタイヤ

ランフラットタイヤはゼロプレッシャー（空気圧ゼロ）になっても、
所定の速度で所定の距離を走行できます。
「アイスガード トリプルZ・P・S」は最大80km/hの速度で最大80kmの距離。

※ランフラットタイヤが標準装着されていない車両には装着できません。

発売サイズ

インチ	偏平率	タイヤサイズ	発売予定月
18	40	245/40RF18 93Q	2010年9月
		225/45RF17 91Q	2010年9月
17	45	★ 245/45RF17 99Q	2010年10月
	50	225/50RF17 94Q	2010年9月
16	55	195/55RF16 87Q	2010年9月
		205/55RF16 91Q	2010年9月

★印はエクストラロードタイヤ

ご掲載時の読者のお問い合わせ先
タイヤお客様相談室
TEL：0120-667-520（フリーダイヤル）

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570